

調布市との「地域活性化包括連携協定」に基づき 障がいのある方が作られた商品の販売を開始しました！

セブン-イレブン・ジャパンは2020年1月より、セブン-イレブン飛田給品川通り店において、調布市内4カ所の福祉作業所で作られたクッキー等の焼き菓子販売を始めました。

本取り組みは、2018年4月に株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社イトーヨーカ堂、調布市と共に締結した「地域活性化包括連携協定」に基づき、福祉作業所や障がいのある方が作られた商品の認知度向上に貢献し、共生社会の実現に寄与することを目的としたものです。

参加事業所：

社会福祉法人 調布を耕す会 しごと場大好き
 社会福祉法人 新の会 はあと・ふる・えりあ

NPO法人 調布心身障害児・者親の会 ぴいす
 社会福祉法人 調布市社会福祉事業団 すまいる



クッキー、ガレット、ブラウニーなどの焼き菓子
 10アイテムを販売中です。

社会福祉法人 調布を耕す会 しごと場大好き
 施設長 亀田 良一郎 様



作業所のメンバー達は、自分たちの商品がセブン-イレブンの売場に並んでいるという事を、特に嬉しく思っています。メンバーは製造だけでなく、納品にもお伺いします。よろしくお願ひ致します。

【調布市との「地域活性化包括連携協定」について】

連携項目：

「地産地消と市産品の販路拡大」「市政情報及び観光情報の発信」「地域や暮らしの安全・安心」など10の分野

これまでの取り組み：

高齢者等の見守り活動「みまもっと」への参加・協力、市と協働した高齢者雇用の促進事業「シニアお仕事説明会」の開催、選挙の投票啓発への協力など



関連情報

・調布市福祉作業所等連絡会

調布市内の福祉作業所等を会員とし、会員相互がその自主性を尊重しつつ相互に共同できる事業について連携を図り、心身障害者（児）福祉を推進することを目的に活動されています。

<http://chofufukurenraku.sakura.ne.jp/>

多様な団体と連携を図りながら、すべての人が暮らしやすいまちづくりに貢献します。

